

	北波多小学校 学校だより17号	北波多小だより	令和7年9月12日発行 文責 校長 川原 悟
---	--------------------	---------	---------------------------

創立150周年記念～昔の写真から～

創立150周年記念行事に備えて、学校に残っている古い写真を探したり、当時がどんな様子だったのかを調べたりする中で、多くの新しい発見があります。写真そのものは、そこまで多くは残っていませんが、昔の写真を見ると、その当時、どんな校舎で過ごし、どんなことに取り組まれていたのかが良く分かります。そして、写真を見ているだけで、北波多小学校の歴史とその重みを感じ取ることもできます。

下の写真は、昭和29年に管理棟舎が新築された当時の北波多小学校です。よく見ると、校舎が奥にも横にも建ち並んでいます。その頃に中学校が独立し、新校舎へと移転をしています。それにも関わらず、昭和31年には、児童数だけで1,698名、教職員39名、34学級あったという記録が残っていますので、かなりの大規模校であったことが分かります。

校舎の向こうには、霧差山が見えていると思われます。学校からは、その霧差山が見渡せ、その頂を感じながら子供たちも、教職員も学校生活を送っていたことが考えられます。今よりも校舎が低いことから、校舎の至る所から霧差山が見渡せていたのではないのでしょうか。後に校歌が作られますが、歌詞の中に霧差山が出てくるのは、このような風景が当時見えていたことからきているのかもしれません。

今後少しずつにはなりますが、学校だよりで昔の学校の様子について紹介していくことができればと考えています。



北波多村制百周年記念誌より

